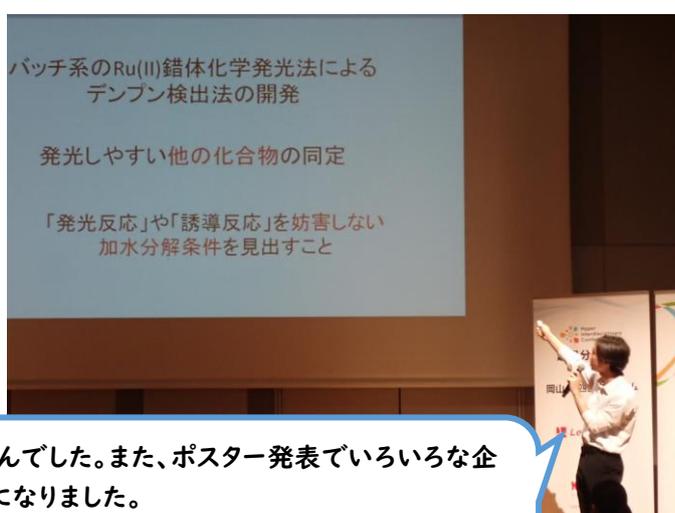


サイエンスキャスルスプラッシュで発表

5月18日(土)に岡山コンベンションセンターで開催された「超異分野学会 2024 岡山・中四国フォーラム」に、本校から理数科3年の生徒が参加してポスター発表を行いました。参加したのは2年次に化学分野で研究を行った3グループの生徒たちです。

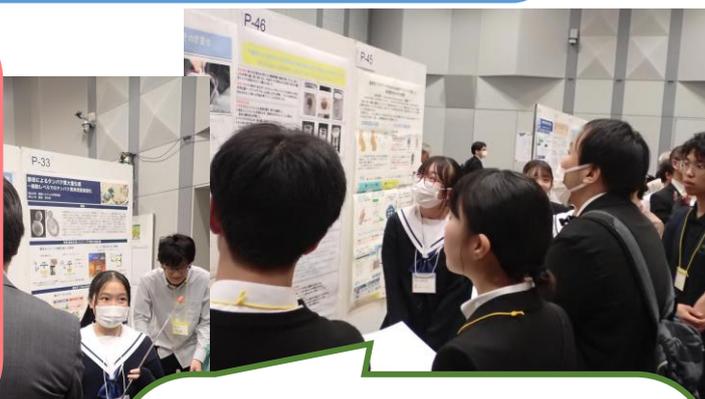
さらに3グループのうち2グループは「サイエンスキャスルスプラッシュ」での発表者に選ばれ、ポスター発表だけでなく5分間の口頭発表も行いました。



ステージの上で発表しました。質疑応答等はありませんでした。また、ポスター発表でいろいろな企業や大学の研究者の方とふれあいました。大変勉強になりました。

色々な大人の方と話すことで様々な知見を得ることができました。また、そんな方々の前で発表するためにいろいろな準備をしたことでプレゼンテーション能力を高めることができました。

質問に対しても自分たちの考えや成果、考察をしっかり伝えることができた。また学生だけでなく企業の発表を聞き自分の興味、見聞を深めることができた。今まで課題研究の発表についての質問は化学反応の内容などが多かったが、企業の人達が多かったのでこの研究を生かした次のステップの話や、こういう特性をこう活かせるなどの自分たちには見えない角度からの指摘や提案が得られてとても学びになった。



5分間で初対面の人にも伝わるように、そして目を見て話せるように発表の練習をしました。初めに代表者の発表を聞いているときに、聞き手に興味を持ってもらうには聴衆者の目を見て研究への熱意を伝えることが大切だと思いましたが、緊張してあまり上手く表現できないもどかしさもありました。また、他の人のポスター発表を聞いてみると、実物を触ってもらい体感してもらうなどすることが理解してもらいやすいと感じました。

